

令和2年度 第2回高浜町総合教育会議 会議録

開催日時	令和2年11月9日(月)	開会8時57分 閉会10時06分
開催場所	高浜町役場 会議室3・4	
出席者	町長 野瀬 豊 委員 福田 敏弘 委員 濱野 秀子	教育長 釣本 眞史 委員 江川 雅也 委員 田中 温子
事務局	【教育委員会事務局】 局長 的場 均 次長 堀口 剛 【総合政策課】 課長 永禮 義己	次長 小林 英文 主査 十前 弘典
1. 町長あいさつ		
野瀬町長	<p>先日、総合計画審議会から、次期総合計画の案について答申があり、来年度からの10年間の方針が固まった。</p> <p>そのあたりをテーマに、いろいろとご意見をいただきたい。</p> <p>町長部局の一般行政と教育行政とは独立した関係性だが、この総合教育会議で意見を交わすことで、溝を作らずいい関係を保ちながら教育行政を推進していければと考えている。</p>	
2. ① 学校教育パンフレットについて		
的場局長	<p>今回のパンフレットは、町長マニフェストに掲げている「子育て世代の負担軽減」「子育て環境の向上」を教育施策の中でわかりやすく実感していただき、施策の浸透と積極的に活用していただくことを目的として作成した。</p> <p>また、町外に向けて「子育て環境日本一を目指す町」をPRするためにも、活用していきたい。</p> <p style="text-align: center;">～ パンフレット「まなび」を基に説明 ～ ～ 実施予定の町長マニフェストについて説明 ～</p>	
江川委員	<p>入学準備金について、高校入学祝い金ではなく、中学校卒業祝い金となっているのは、高校だといろいろな形態があるから、幅広く給付できるよう卒業祝い金としたのか？</p>	
的場局長	<p>近年、中学から高校への進学率はかなり高くなっているが、それ以外の進路もあることと、高校入学に向けての準備は、早くから取り掛かる必要があり、入学してからの準備金では遅いので、動き出しやすいように設定した。</p>	
江川委員	<p>実施予定の町長マニフェストがいくつかあるが、パンフレットには、それらのマニフェストを取り込んだ形のを配布するのか？</p>	
的場局長	<p>できるだけ早く町内外に発信したいので、今回のパンフレットは現状をまとめたものとして、来年度の改訂版に町長マニフェストを記載する予定。</p>	

福田委員	町民にこのような制度を理解してもらうことも重要だが、町外にもPRしていけるとよい。
的場局長	11月末の町長記者会見で「まなび」のパンフレットについて発表し、記者クラブへ投げ込みをする予定。保育所や小・中学校の保護者に配布し、また、成人式や視察に来られた際にも配布し、ホームページにも掲載する。
教育長	<p>学校に対して地域が入りにくい、学校で何をやっているかわからないという意見もあるが、学校は地域の応援があって成り立つものなので、このパンフレットで教育環境をオープンにして、地域に知ってもらい、もっと関わってもらいたいという狙いがある。</p> <p>また、教育費負担ゼロにすることは、子育てや教育にも繋がっていくという、町としての想いも町民に理解してもらうことで、もっと学校を応援し協力してもらい、高浜町の人材育成にも繋がることを伝えていきたい。</p> <p>自分も長年学校現場にいた経験上、問題を持った子どもの背景には、家庭環境が大きく関わっていると感じている。本人が努力しようとしても、経済的な面で家庭が落ち着いていないと、本人が頑張りにくい環境になって、悪い方向に進んでしまうことがある。</p> <p>子育て環境を整えることで、そのような子どもたちの家庭が落ち着き、よりよい方向に進んでいけると考えている。</p>
町長	パンフレットに発行年度もしくは発行日などを記載しないと、今後更新した時に、前と変わっていないと思われるのでは？
的場局長	わかりやすい箇所に明記する。
福田委員	私は10年以上教育委員を務めているが、このパンフレットの内容を見ると、ハード面では給食センターなどの課題は残っているが、経済的な面で教育環境がこれほど整ったことは今までなかったもので、教育委員の一人として、町長や事務局に感謝している。
町長	<p>家庭環境は子供の成長に大きな影響を与えるが、所得格差が広がってきた現在では、低所得の家庭は負担が大きかったと思う。</p> <p>今後は、教育費以外のことも肉厚にしていきたいが、これらの施策を実施する上で留意すべきこととして、経済的な支援を未来永劫行うことは保証できないが、その場だけの思いつきではなく、最低でも10年から15年程度継続できるよう、財政状況を整えておかないといけない。</p> <p>これらの支援は、人口減少対策にも繋がってくる。</p>
2. ② 次期総合計画（案）について	
永禮課長	～ 総合計画策定の目的・経緯等の説明 ～
的場局長	～ 総合計画（案）の教育部分を抽出して説明 ～
江川委員	<p>体育館のエアコン設置について、災害時には避難所になるところもあるので、予算については、教育委員会ではなく防災など広いところから確保できないか？ 学校の体育で使うだけならもったいないと思われるけど、何かあったときに避難所となり、そこで1～2週間生活しないといけなくなることから、設備を整えておくべきではないかと考える。</p> <p>普段は便利に使えて、災害があれば生活用に使うなど、融通が利くよう</p>

	にできないか？
町長	<p>教室のエアコン設置の場合は、1日の大半を教室で過ごすので理解を得られたが、体育館については、スポーツの観点だけから考えると、日中通して使うものではないので、エアコンは贅沢設備と思われがち。なので、中央体育館のエアコン設置の時は、予算査定時に最初は外したが、議会から「つけるべきでは？」という意見があったので、結局設置することになった。昔と比べて夏場の平均気温が上がっているのに、贅沢というより健康維持の面からも必要な設備と考える。</p> <p>予算は教育委員会で確保することとなるが、機能としては防災面からも必要性があるので、総合的に判断していくことになる。</p>
的場局長	<p>防災関係の国の予算は、借金をしてくださいという制度の方が多く、通常は文科省の1/3もしくは2/7の補助金を活用することになる。</p> <p>小学校の体育館は、窓や扉を開けばなしにすると、意外と風が通る状況もあるので、今後は総合的に考えていく必要がある。</p>
教育長	<p>子どもを育てる時には、ある程度のハードルを設けることが必要だと思う。それを乗り越えることで充実感を得て、さらに高いハードルに挑戦していくことの繰り返しになるが、先ほどの気温の話でいくと、ゆりが丘や水明などの子どもは、夏の暑い中、重いランドセルを背負って通学するのは、ハードルが高すぎるので、通学の帰りだけでも、1～2年生は赤ふんバスを利用するという考えもある。そのあたりもバランスを取りながら考えていきたい。</p>
町長	<p>今後、給食センターも更新しないといけない時期に来ている。</p>
的場局長	<p>給食センターは、建物より設備の方が早く痛む。個々の設備の故障は、その都度修理して対応しているが、ある程度の時期になったら一括更新しないといけない。今、その時期に来ているので、今後の運営方式も含めて検討していきたい。こちらの最上位の案は民設民営を考えている。</p>
町長	<p>一般的に「役場がやるべきことは公設公営で」という意見があり、確かにそうすべき分野もあるが、例えば、CATVは以前まで町で設置・運営していたが、今は撮影はチャンネル0、施設管理についてはオプテージに委託している。IT分野は日進月歩なので行政の職員がついていけず、民間のように専門職としてずっと配置しておくこともできないので、任せるところは任せの方が、住民の使い勝手の良さにも繋がるし、スキルがない行政が持っても宝の持ち腐れとなり、管理もできなくなる。</p> <p>給食センターも一般論でいくと「民間だと利益を追求するので、食材費をケチるのでは？」という意見もあるが、最近では世間の目も厳しくなっており、また、実績のある業者だと、行政が運営するより味やサービス体制などのクオリティーが高いので、発想をそちらに切り替えることで、結果的に利用者にとってプラスになると思うので、幅広く検討していきたい。</p>
江川委員	<p>「まなび」のパンフレットをホームページに掲載した時に、それぞれの支援制度の申請書の文字をクリックすると、その申請書データが表示されるようにすると、住民は使い勝手がいいと思う。</p>
永禮課長	<p>対応可能なので、そのように作成する。</p>

町長	<p>体育施設の予約はネットで可能だが、これらの申請をネット上ですることは可能か？</p>
的場局長	<p>今、検討されている印鑑廃止が進むと、そのようなことも検討していく必要があるが、まだ、そのような文化がない。</p> <p>先日まで実施していた、学生緊急支援給付金は印鑑なしで対応したが、この方法が一般的にならないと、事務の軽減化は進まない。</p>
町長	<p>ホームページについて、私自身ごみの収集日をよく確認するが、他の審議会答申などと同じフォントサイズなので見にくい。町民がよく見るものは、別のバナーなどで対応できないか？</p>
福田委員	<p>小学校の姉妹都市交流事業と中学校の海外派遣事業は、長年継続することで成果を挙げてきたが、コロナで中断してしまった。各学校に ALT もおり、コロナが終息すれば派遣事業も再開できると思うが、その間、海外の学校とオンライン交流するなど、今までの成果を繋ぐ方法はないか？</p>
的場局長	<p>今のコロナの状況だと、いつこの事業を再開できるかわからないが、海外派遣については、どこで学習するのかといったものも含めて、今後検討していきたい。</p> <p>国内でも英語合宿のようなものが実施されており、現地で文化に触れることも大事だが、英語教育という部分も必要な事。家庭を出て違う土地で何か体験することも成長に繋がるので、形を変えて実施できる方法を検討していきたい。</p> <p>海外派遣事業は民間でも実施しているので、町がすべきことなのかも検討しないといけない。</p>
教育長	<p>海外派遣事業も方向性を含めて考える時期に来ている。</p> <p>今までの取り組みで一定の成果はあるが、今後も同じ形態で継続するかというと、形を変えて国内で実施するといったことも検討していきたい。</p>
田中委員	<p>教育費の支援が手厚く、大変ありがたいことだが、当たり前だと思われるとうと残念に思う。これらの支援を基に、皆さんが行政や教育に携わって協力してもらえると、よりよいものになっていくと思う。</p>
町長	<p>いろいろ支援することで、住民の満足度も上がるが、将来的には財政状況も厳しくなってくると思うので、他市町より手厚いことをアピールしながらも、ある程度律する部分を持つておく必要がある。</p>
福田委員	<p>社会教育関係で、和田公民館がいろいろな講座を活発に行っている印象がある。館長の個性が関係しているのかもしれない。</p>
町長	<p>公民館の講座や教室の参加者は、安定しているのか？</p>
教育長	<p>公民館講座は、今まで60歳以上のリタイヤした人の趣味の講座が多かったが、幅広く違う世代も活用してもらいたいのので、和田公民館がオンライン講座を始め、他の公民館でも実施している。結果、若い世代がヨガ教室に参加することに繋がったので、今後もいろいろな世代を取り込んでいきたい。</p>
的場局長	<p>公民館という拠点ができたことで、各地区でバラツキはあるものの、必要な講座や要望がある講座を実施している。</p> <p>ただ、公民館が地区の自治活動と連携しているわけではないので、そのあたりも考慮すべきだと思う。</p>

町長	例えば、農協婦人部など、各区単位や居住エリアのコミュニティで大人の趣味の場のようなものがあるが、今は SNS を通じて同じ趣味を持つ人が集まるようになってきた。公民館として、そのエリアで行う生涯学習の在り方が難しくなってきた時代なので、いろいろと知恵が必要になる。
濱野委員	オンラインはまだ馴染めていないが、コロナの影響で各団体も集まって活動できないので、オンラインにすることで、行き帰りの時間も省けるメリットはあるが、踊りなどは実物を見た方が迫力が伝わるので、それぞれのいい部分を活用していけたらと思う。
的場局長	オンライン自体になれない部分があるが、公民館から発信することで、一つの機会を提供するという意味もあるので、すべてをオンラインに切り替えるわけではなく、必要に応じて取り入れていきたい。
教育長	オンラインを教育に生かすことも必要だが、アナログ的な体験学習も必要なので、バランスを取りながら、それぞれを活用していきたい。

～ 終了 ～